

コスモスプロジェクト近況報告！



7月から始動した一口100円オーナー制のコスモス畑ですが、無事にコスモスの花が咲きました！

一般質問
行政経営
について
消防団活動
への理解を
深めるために

いつも全力！大切な宗像のために。
議員活動報告書

アベマガ 2022年9月議会号

行政経営について 本市の行政経営全般について、以下の質問を行いました。 ※要約です

扶助費の増加に対する政策は重点課題と考えるが、具体的な対策を伺う。

扶助費については年々増加傾向にあり、令和3年度には98億円を超え、予算全体の3割弱を占め、財政硬直化の原因となっているが、各種法令に基づいた必要な経費だと考える。
しかし、今後も財政状況が圧迫されることが予想されるため、予算全体で歳入増加や歳出の抑制を引き続き実施していきたい。併せて、**扶助費の抑制につながる取組も拡充したい**と考えている。

扶助費の抑制にもつながる事業を洗い出して効率化させていく対策を求めるが見解は。

今後も扶助費の増加により他の予算への影響というのは深刻化するのでは間違いないと考えている。今後も成り行きのままやっていると、他の事業の予算執行が非常に難しいというところでもあるので、御提案いただいたことも含めて、**政策会議等の場で議論は深めていきたい**。

広域行政に関することは重点政策と考えるが、これまでの実績と今後の計画は。

広域行政については、現時点で**今後の具体的な計画はないが、広域行政による事務の効率化などのメリットと関係団体増により迅速な意思決定が困難になるなどのデメリット、市民に与える影響を十分に勘案し、関係自治体との相互調整や双方住民の御理解を得た上で、これを推進したい**。

現時点で具体的な計画はないとのことだが、市の経営を俯瞰的に捉えまちの経営をする部署は経営企画部だと思う。本市の将来の見通しをよく分析した上で、**例えばごみ焼却場など、本市の方針を早めに決めて、次の対策を講ずる必要がある**と考えるがどうか。

ごみ焼却施設については、宗像市、福津市、古賀市、新宮町で構成する玄界環境組合により、宗像清掃工場と古賀清掃工場が運営されている。各工場とも運用開始から18年、老朽化などによるトラブルも頻発している。住民生活に密接に関わりを持つごみ焼却施設については、在り方や次の対策を検討するに当たっては、構成市町との調整やクリアすべき多くのハードルがあり、時間もかかるため、早い段階からの議論が必要であると考え。先日も政策会議において、情報共有も兼ねてごみ焼却施設の現状や課題などについて議論を行った。まずは市としての考えを整理しつつ、**玄界環境組合構成市町との協議に向け検討を行いたい**。

要望 広域行政は相手があつてのことなので、単市でことを決めるのは難しい。とはいえ、広域行政の中で宗像市がある程度優位に立つためには、前もって状況分析した上で、ほかの自治体との調整をするためにボールを投げるといことも先にしないといけない。協議の中で優位に立てるようなボールを投げかけるような行動をしていただきたい。

事務組合を今後どのようにしていくのが市民にとって望ましいと考えるのか。

今後も効率的な運営を継続していくことが望ましいと考えている。

要望 宗像市は事務組合の構成市であるので、効率的な運営ができているかどうか、無理なことや無駄なことがないか、事務以外にも効率化できるところがないか、施設を有効活用できないか、調査分析をしていただきたい。

事業評価を行った結果、具体的にブラッシュアップできた事例はどの程度あるのか。また、自分たちの実施した事業を当事者で評価するメリットやデメリットを伺う。

具体例として定住化推進事業は、従前は家賃補助を中心とした制度設計だったが、**市内定着率の高い持家購入に対する補助にシフト**した。

グローバル人材育成推進事業は、**海外派遣研修から市内開催のイングリッシュ・キャンプ事業やむなかた子ども大学等に重点をシフト**することにより、より参加できる対象を広げることとなった。

メリット 事業の中身や取り巻く状況、法律、仕事の流れ等を把握している職員が、自ら責任を持ち評価をすることで、事業を改善、改革できる。

デメリット **第三者が見るような客観的な評価が不十分、信頼性の面で問題ある内容になる可能性がある。**

前年度の課題の改善策や決算審議で委員から指摘を受けたことなど、客観的な声に基づいた評価としたほうが本来の目的を達成しやすくなるのではないかと。

議会からの指摘事項等については、次年度に向け策定する各部の方針や実施計画や予算編成の中で協議を行っている。引き続き、その精度を高めながら調整していきたい。

また、現在、令和7年度からの第3次総合計画の策定に向けた議論を開始しており、その中では、国も推奨するEBPM、いわゆる証拠に基づく政策立案の考えを取り入れることを検討している。

EBPM：政策目的を明確化させ、その目的のため本当に効果が上がる行政手法が何かなどをデータの客観的な証拠から明確にするもの

第三者による評価のほか、EBPMの試行、分析手法を活用したKPIの設定による**客観的な評価の仕組みを検討し、事業の改善、目的達成につながる方法を検討**したい。

要望 客観的な評価を過去にいろいろな機会に指摘してきた。政策評価とか事業評価を客観的な根拠に基づくことは民間では当たり前のこと。ぜひ客観的な評価が今後早めに採用されるように、努力をしていただきたい。

市民参画条例にのっとって審議会やパブコメを採用されている状況だが、**改善の余地がある**と思う。社会状況の変化もある中で、**効果的に市民意見を集める手法は工夫次第**ではないか。経営企画はそれを全庁的に計画をしている部署で、俯瞰的に見て改善したほうが良いと言える立場ではないか。

市民参画の手法については、かなり年数がたっており、少し形骸化している部分もあると考えている。**より多くの市民の方が参画できるような手法などへの見直しについては、業務改善の視点を含めて、市民協働環境部と一緒に議論を深めていきたい**。

行財政改革アクションプランにおいて、令和6年度に**公共施設使用料**の改定が予定されている。**コロナ禍の影響で当初予定していた効果が出ているかどうか判断できないのではないかと**考えるが、予定どおり改定を行うのか。また、その場合、**建物の客観的寿命、施設の使い方、将来人口や利用者推移を分析して、長寿命化する施設であれば生涯コストを算出し、利用者目標数を決め、使用料を割り出す必要がある**と考えるが、市の見解と今後の予定は。

市の回答は裏に続きます

公共施設使用料については、第1回の見直しを平成24年度に行った際に、5年ごとに見直しを実施することとし、第2回目の見直しを平成29年度に行った。そして、令和元年度に第4次行財政改革アクションプランを策定する際に、3回目の見直しとして令和4年度に使用料見直し作業を行い、1年間の周知を経て令和6年4月から改定することとしてプランに位置づけている。

御指摘のとおり、本プラン策定後に**新型コロナウイルス感染症の流行により、これまでと同様の手順で見直しを行うことは難しい**と考える。まず、これまでの使用料見直しの効果や課題等について調査分析に取り組むこととし、その内容や進捗に応じて**使用料見直しのスケジュールについても再検討したい**と考えている。

また、使用料の算定については、受益者負担の適正化という観点から、公共施設の運営に係る経費を算定の基礎とし、そのうち建物にかかるコストとして減価償却費を算定に入れている。また、算定に用いる基準利用率については、これまでの施設利用率を基に利用率向上を加味して設定している。この考え方を基に、**議員のお考えも参考にしつつ、調査分析や課題の整理を行っていき**たい。



予算の編成及び執行に関することについて、編成時には前年度もしくは前々年度決算時の課題や議会からの指摘、要望事項は協議されているのか。

次年度の当初予算の編成においては、**前年度までの事務事業評価や議会での指摘事項について、改善を検討した上で各課が予算要求することとしている**。

具体的に、次年度予算要求の前提となる実施計画の策定に当たって示される経営方針の中でも位置づけしているが、**市議会の指摘、提案等を踏まえ、各部が部の方針を策定することとしており、部のマネジメントによる改善を行うよう促している**。その後の財政査定においても、市の各種計画や部の経営方針との整合を確認しながら、適正な予算案を検討している。



課題の把握を行って、改善策を考えて、次年度予算に反映させるというのは当然のこと。議会からの指摘や要望について、計画と整合性があるもの、効果が期待できるもの、費用対効果が高いと考えられるものは、次年度予算に反映できるよう努力すべき常識である。今後改善の努力をしていただきたい。

市民は補助事業のときに成果報告として、細かく資料作成をして提出することを求められます。行政はもっとしないといけない私は思います。最近の宗像市は、「事業を実施しました」という表現が多いと思うんです。でも本当は、「こういった取組を行ったら、市民の生活にこのようによい効果が現れましたので、次年度以降はより効果を高めるために、こういった部分に予算を充てていこうと考えます」みたいな報告が欲しいです。また、「事業を実施したら、市民からこういった課題の指摘を受けました、庁内議論でも課題認識があるので、改善を図る必要があります、そう判断しましたので、次年度は課題対策のために事業予算を増額する考えです」そういったことが成果報告の中に出てこないといけない。

「前年度の予算を使いました」という報告じゃなくて、「使った結果どうなりました、だから次年度も使わせてください、もしくは、次年度はこの事業はしないけども、同じような目的、より一層目的を達成するために、この事業をします」こういった説明が出てくるために、議会や市民に対する結果報告の練度、検証度を高めていただきたい。



行政経営においては、人づくりの視点が重要であります。市長も常々、職員は「財」であり、まちづくりは人づくりであると公言されておられるが、市の考える人材育成について、質問をいたします。

職員にやりがいを持ってもらいたい。職員のやりがいは、職場の空気、仲間意識、市民への貢献を肌で感じることで、自分が行った仕事に対して真っ当な評価を受けているんだと思えること、職場内で自由闊達な意見交換ができることが、モチベーションにつながるのではないかと。

人事評価のバージョンアップが必要ではないか。今既に辞められている若者がいるということは、何か工夫が必要じゃないかなということの問題提起させていただいている。検討できないか。

人事評価の見直し、組織の風土づくりについて人事考課の見直しについては役所の中で、管理職、一般職、労働組合の職員を入れた制度審議会というのがあるので、今回の趣旨のことで見直しが何かできないか研究したい。



過去に**副業**について、検討していただきたいと提案していた。**職員が自分の持っている経験を売りにして、地域に飛び出して活躍することで、「生きがい、やりがい、働きがい」を感じて「私は公務員が天職です」**って言えるところまで行くと、後がすごいパワーなんじゃないかと思う。毎日がやりがいに溢れ、モチベーションが上がり、そして地域にもいい効果が現れると考えるが、副業について検討できないか。



研究してまいる。副業に関しては、地方公務員法の中で、営利企業従事の許可を受けなければならないという規定がある。今、スポーツ関係の指導者として地域に出て行って報酬をもらっていることを許可している、地域に出向くことは積極的に取り組んでいきたい。

一方で、私企業で一定の報酬を得てやるというものについては、地方公務員法の原則論があるので、そこを研究していきながら、対応してまいります。



地域で農業とか地元の文化事業とか、いろいろ行政職員が関わるポジションはあるんです。地域の方と接点を持って進んでいけば、もっと現場を分かることになるので、ぜひ研究をしていただきたい。



若手職員が辞めていくので、私としては、行動力と発信力を駆使して町のブランド力を向上したり、住民と顔の見える関係性の構築、前向きな明るいキャラクターで、雑誌やメディアの出演もされていたり、様々な自治体の研修の講師として評価されている方の話を聞いて、私も明日から頑張ろうって思えるような、**前向きな活力のある講師を本市の職員研修に呼んでほしい**。

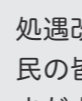
前向きに検討してまいります。



消防団活動への理解を深めるために



処遇改善について、消防団の誇り、団結力、正義感、使命感といった団員の高い意識を損なわないよう配慮ができています。



処遇改善については、今年度から団員の報酬等に関する制度を改正し運用している。また、消防団活動への市民の皆様の評価は団員の活動意欲に直接影響するものと考えますが、消防団の活動に対する市民の皆様の理解がまだまだ足りない部分があると認識しているので、理解が進むような方策を引き続き検討してまいります。



広報活動について、市民サービス協働化提案制度を活用するなど、**市民と協働した広報事業**ができないか。また、コミュニティ運営協議会や自治会などの研修で、**消防団に関する広報啓発**を行えないか。

御提案の市民サービス協働化提案制度の活用をはじめ、消防団の広報を行えるような手法があれば検討したい。また、可能であればコミュニティ運営協議会等の研修会などの機会も活用し一層の周知を図ってまいります。



消防団の現状課題、将来課題を踏まえて、消防団の定数の在り方、真の処遇の改善、広報啓発について、早急に具体策を講ずるように強く求めます。

あべ よしひで 安部 芳英



1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。
学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科) → 福岡建設専門学校

宗像市議会議員

- 宗像大社氏子青年会 監事
- 遠賀・宗像食品衛生協会相談役
- (公社)福岡県建築士会防災部会前副会長兼宗像地域会前副代表
- 婚活まちづくり団体ゆめみらいNIPPON元代表
- 青少年育成活動 宗像少年の翼前会長
- 城山中学校PTA元会長(2018)
- アドベンチャーMUNAKATA2020実行委員会顧問

これまで関わってきた祭りイベント

- 赤間駅前カムカム祭り実行委員会
- 夢灯笼祭り実行委員会
- ゆめタウン宗像夏祭り実行委員会
- 宗像まちづくり映画上映実行委員会



教えてよっちゃんネル 議員インターンシップに参加した学生3人組にインタビュー。